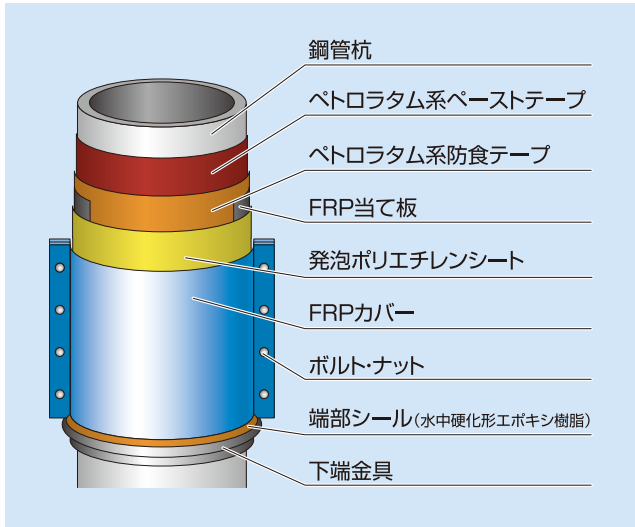


# FRPカバー・ペトロラタム被覆工法 (NTAC-FPI工法)

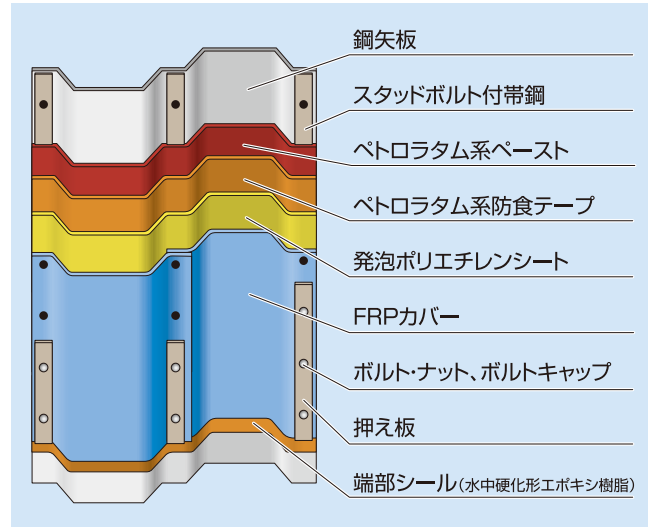
## FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の概要

本工法は、鋼材表面をペトロラタム防食材(JIS Z 1902 ペトロラタム系防食テープ)で被覆し、その上に緩衝層を有するFRP材を保護カバーとして装着したペトロラタム被覆工法です。FRPカバーはボルト・ナットで締め固め、強固に固定します。

### 【FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の構成】



鋼管杭の場合



鋼矢板の場合



FRP材：繊維強化プラスチック

## FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の特長

- 耐薬品性や耐海水性を有するFRP製保護カバーを採用。
- 海洋現場(水中・気中)で施工可能。
- 構造物の既設・新設は問わず、施工可能。
- 鋼管杭、鋼矢板、鋼管矢板などに施工可能。
- FRPカバーへの着色が可能。(基本色：青)

## FRPカバー・ペトロラタム被覆工法のメリット

- 水中硬化形被覆と比較し、低コストで長期防食が可能。
- 約30年の期待耐用年数\*を有しており、鋼構造物の長期防食が可能。

\*期待耐用年数は過去の実績に基づいた標準的な環境や施工における被覆防食の耐久性の目安。  
出典：(財)沿岸技術研究センター 港湾鋼構造物防食・補修マニュアル(2009年版)

# FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の実績

独立行政法人港湾空港技術研究所波崎海洋研究施設の栈橋鋼管杭で18年<sup>\*</sup>以上（2003年時点）暴露試験を継続実施しており、防食性能の維持・発現が確認されております。また、多くの港湾鋼構造物（栈橋基礎鋼管杭、岸壁鋼矢板など）でFRPカバーによるペトロラタム被覆が適用されております。

※出典：大野泰彦ほか ペトロラタムライニング工法の耐久性について（波崎における暴露試験体調査から）第23回防錆防食技術発表大会

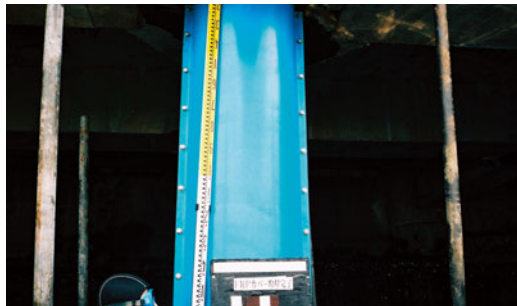
# FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の施工フロー（鋼管杭の場合）



1. 素地調整



2. ペトロラタム系防食テープ被覆



3. FRPカバー被覆



4. 水中硬化形エポキシ樹脂による端部処理

# FRPカバー・ペトロラタム被覆工法の施工事例



鋼管杭の施工例



栈橋繋ぎ梁の施工例



鋼管矢板の施工例

## ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。



## 日鉄住金防蝕株式会社

〒136-0072 東京都江東区大島三丁目7番17号

【お問い合わせ先】  
エンジニアリング事業部  
技術部

技術グループ Tel: 03-5858-6127 Fax: 03-5628-3655  
開発グループ Tel: 0439-57-0985 Fax: 0439-52-2948

### エンジニアリング第一部

室 蘭工 事 務 所 Tel: 0143-41-7080 Fax: 0143-41-7081  
鹿 島工 事 務 所 Tel: 0299-83-2345 Fax: 0299-83-2345  
君 津工 事 務 所 Tel: 0439-52-5101 Fax: 0439-52-5121  
名 阪工 事 務 所 Tel: 052-689-3351 Fax: 052-689-3352  
九 州工 事 務 所 Tel: 093-861-2510 Fax: 093-881-6235

### エンジニアリング第二部

営 業 グ ル ー プ Tel: 03-5858-6127 Fax: 03-5628-3655  
東 日 本 営 業 所 Tel: 03-5858-6127 Fax: 03-5628-3655  
西 日 本 営 業 所 Tel: 06-6885-8855 Fax: 06-6885-8856  
沖 縄 営 業 所 Tel: 098-943-0422 Fax: 098-943-0433